

「父母について」

2017年7月1日

月心会 西東京本部 浜田山支部
阿部 哲也

2009年、私は父と一緒に月心会に入会しました。今思うと空手を始めてから今に至るまで、父母の協力があってこそ続けられたと感じています。空手の練習に行きたくない時は母が励ましてくれました。空手でうまくできなかった日には父が応援してくれました。私は中学受験をしたため、空手を半年くらい休んだことがありました。中学受験後、空手を半年も休んでしまったため、そのまま空手をやめようと思いました。しかし、父母が「せっかく今まで続けてきたのだから、最低でも黒帯になるまではやめないで頑張ったら。」と肩を押してくれました。空手に限らず全てにおいて父母の協力がなければ、今の私はいなかったような気がします。今まで私は父母に心配をさせるようなことや支えてくれたことなど、いろいろなところで父母には力を借りてばかりでした。これからは、今まで父母にしてもらったことを少しずつかえしていきたいです。

今回私が昇段審査を受けることができたのは、市川本部長や黒帯の方のご指導があったからです。分からないことがあった時には親切に教えてくださり、気が緩んでいた時は厳しく注意してくださりました。私は、今まで私を成長させてくれた方々への感謝の気持ちを忘れずに今回の昇段審査を受けたいと思います。

私をここまで成長させてくれた父母、市川本部長、黒帯の方々には心から感謝しています。本当にありがとうございました。これからも一生懸命空手を頑張るのでどうぞよろしくお願い致します。